

小松市立宮本三郎美術館 企画展

宮本三郎の軌跡

2022年12月10日(土) ~ 2023年3月12日(日)



《手かがみ》1935 年

小松市立

 宮本三郎美術館

〒923-0904 石川県小馬出町5 ☎ 0761-20-3600

○開館時間／9:00-17:00 (入館は16:30まで)

○休館日／月曜日(1月9日を除く)、1月10日、2月24日、
年末年始(12月29日～1月3日)

○入館料／一般300円、高校生以下無料

※20名以上の団体は一般250円 ※こまつミュージアム・パス対応

※障がい者手帳等お持ちの方、および[ミライロID]アプリ提示者と
介助者1名は無料



本展覧会では、洋画家 宮本三郎(1905-1974)の生涯にわたる画業の移り変わりを、初期・従軍・疎開～終戦直後・戦後・晩年と期間をわけて紹介します。宮本はその時々々の作風について、自分の言葉で説明しています。それは、常に自分を客観視しようとしていたからです。そのため、宮本は絵画の造形的な研究だけでなく、作者の理念、モチーフや主題といった美術史的な研究にも熱心でした。

そうした熱心な研究もあって、宮本の作品の造形的な特徴に、西洋美術史に名を連ねる画家の作品との類似を見出すことができます。では、そうした類似と一線を画す「宮本らしさ」とは、一体どのようなものなのか。宮本の画業の移り変わりは、単なる“時代の要請”や個人的な環境・気分の変化によるものではないはずです。

本展覧会では、宮本の作品を鑑賞するだけに終始せずに積極的に解釈し、宮本の画業の移り変わりを改めて見直します。

宮本三郎の軌跡



1940年9月 中国へ出発する車中で



右)《マニワ風景》1942-43年頃
中)《山羊》1958年
左)《立っている女》1961年

ポケット学芸員対応！

スマートフォンで作品解説が読めます！
右のQRコードからアプリをダウンロード。



学芸員によるギャラリートーク 申込不要

12月24日(土)、1月28日(土)、2月25日(土)

各回 11:00～

同時開催 分館 宮本三郎ふるさと館

ちょっとお寄りください

～宮本三郎にまつわるエトセトラ～

宮本三郎の人柄や、作品の制作姿勢、
画題へのこだわりなど、いろいろなエピソードを紹介

小松市立

宮本三郎ふるさと館 ☎923-0982 / 石川県小松市松崎町16-1
☎0761-43-3032 入館無料



《バンデー・ミモザ》1960年



【宮本三郎美術館 交通のご案内】

- JR小松駅より徒歩15分、タクシー5分
 - 北陸自動車道小松ICより車で10分
 - バス「市役所前」又は「西町」下車、徒歩5分
- ※駐車場は、周辺の市営駐車場をご利用ください。

小松市立

宮本三郎美術館

☎923-0904 石川県小馬出町5 ☎0761-20-3600

○開館時間／9:00-17:00 (入館は16:30まで)

○休館日／月曜日(1月9日を除く)、
1月10日、2月24日、
年末年始(12月29日～1月3日)



【次回予告】3月25日(土)～6月18日(日)

- 小松市立宮本三郎美術館 企画展「宮本三郎のビフォー・アフター」
- 小松市立宮本三郎ふるさと館 企画展「明日の表現を拓く－宮本三郎記念デッサン大賞展の歩み－」